

伝えること 伝わること

小学校六年

ぼくは、自分の気持ちを言葉にすることがあまり得意ではありません。妹と弟がけんかをしているとき、仲良くしてほしくて何とかだめようにするものの、上手く伝わらずにもっとおこらせてしまうことが時々あります。自分が悪いことをして謝ろうとする時も、心では思っているも素直に「ごめんなさい」と言えないこともよくあります。それでも、家族はいつも最後に笑って「おやすみなさい」と言って一日を終えます。

また、ぼくは楽しい気持ちをがまんすることもあまり得意ではありません。登校中に楽しそうなものを見つけるとつい走りだしてしまいますし、好きな給食のメニューの日は何時間も前からわくわくして落ち着かなくなってしまう。それでも、登校班の友達はずっと手を引いてくれるし、教室の友達と一緒に笑ってくれます。

家族や友達は、ぼくが言葉にできなくても、なぜ

かいつもぼくの気持ちを分かってくれます。心の中にあるたくさん伝えたい気持ちを、いつの間にか見つけてくれます。ぼくがみんなをどれだけ好きか、分かってくれていることが本当にうれしいです。

伝えることが苦手でも伝わることはあるということ、ぼくは家族や友達から教えてもらいました。それと同時に、考えてもいないことが相手に間違つて伝わってしまうこともきつとあるだろうと思うと、とてもこわくなります。

心の中は、言葉にしないと答え合わせができません。けれど全部を言葉にすることは、きつとだれにもできないと思います。だから、せめて好きな気持ちは好きだと伝えたいし、みんながぼくの気持ちを見つけてくれるように、ぼくもみんなの本当の気持ちを見つけれられるようになりたいです。そのために、まずはきょうだいげんかを上手に止められるようになることから始めたいと思います。